

提案書評価基準

1 評価基準

評価項目	評価の主な着眼点	評価点				加算倍率	配点
		5	3	1	0		
(1) 業務実績 (計10点)							
業務実績	・対象人数が100人を超える接遇関連の調査業務の経験は十分か。 (99人未満の案件は除く。)	10件以上	5～9件	2～4件	1件 (最低要件)	×2	10
(2) 業務実施体制 (計15点)							
基本的な実施体制	・業務を一貫して迅速かつ確実に実施できる体制や仕組みが整っているか。	優れている	問題はない	一部に問題点がある	不可である	×2	10
緊急時の実施体制	・トラブルやアクシデントが発生した場合における緊急時の体制について、方針が整えられているか。また、その方針の実現可能性が高いか。	優れている	問題はない	一部に問題点がある	不可である	×1	5
(3) 業務の進め方 (計60点)							
基本的な考え方 (業務実施方針)	・市営バスの添乗調査という業務の特性を理解しているか。	優れている	問題はない	一部に問題点がある	不可である	×1	5
調査票	・調査票に記載する調査項目や判定基準について、業務目的に即した内容となっているか。 ・提案された調査票について、具体性・実現可能性が高いか。	優れている	問題はない	一部に問題点がある	不可である	×3	15
調査員	・予定している調査員の人数や要件等が、添乗調査という業務に適しているか。 ・調査員の選定方法や教育手法等について、具体的かつ実現可能な提案があるか。	優れている	問題はない	一部に問題点がある	不可である	×3	15
調査の進行計画 (業務の進め方)	・一連の業務に係る工程表について、具体性・実現可能性が高いか。 ・添乗調査という重要な業務を委託するにあたり、信用できる計画を十分に練っているか。	優れている	問題はない	一部に問題点がある	不可である	×3	15
調査結果の分析	・交通局にとって有用となる、乗務員の教育指導に役立つ分析方法を提案しているか。	優れている	問題はない	一部に問題点がある	不可である	×2	10
(4) ヒアリング (計15点)							
取組意欲・理解度	・市営バスに関する知識を備えている等、ヒアリングに向けた準備を入念にしているか。	優れている	問題はない	一部に問題点がある	不可である	×2	10
実現性	・全般を通じて実現可能性の高い内容になっているか。	優れている	問題はない	一部に問題点がある	不可である	×1	5
合計							100

2 評価方法

- (1) 各評価項目について、4段階で評価を行います。
- (2) 評価の主な着眼点は例示であり、各委員の評価においては、各着眼点を参考とし総合的に評価をするものとします。

3 第一順位の決定方法

- (1) 各委員が応募者ごとに審査項目に対し評点を付与し、各委員の得点の合計を合算した総合得点の最も高い応募者を受託候補者として特定します。
- (2) 同点となった場合は、評価点5が多い者とします。
- (3) 同点となった場合で、評価点5が同数の場合には評価点3が多いものとします。
- (4) (3)により特定できなかった場合には、評価委員会委員長の判断により特定します。